

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理又は交換をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、製品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ) 本書の添付がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(チ) 持込修理の対象製品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様のご負担となります。

- 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

●消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト コーヒーグラインダー 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様			販売店			
ご住所 〒	—		住所・店名			
お名前		様				
電 話 ()	—		電話 ()	—		

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時～12時/13時～17時(土日祝日を除く)
住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F

This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.

BA-RCM2-04-2302

récolte®

Coffee Grinder

レコルト

コーヒーグラインダー

RCM-2



取扱説明書

この度はレコルト コーヒーグラインダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

INDEX

安全上のご注意	1-4
各部(パーツ)の名称	5
はじめてお使いになる前に	6
各パーツを取り付ける	6-7
ご使用方法	7-8
お手入れのしかた	9
収納のしかた	9
故障かな?と思ったら	10
仕様	10
無料修理規定/保証書	裏表紙

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター

TEL.03-6662-7100

【受付時間】
10時～12時/13時～17時(土日祝日を除く)
【住所】
〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



この表示は、注意を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



分解禁止

◆改造はしない。また、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターにご相談ください。



必ず行う

◆電源プラグは、交流100Vで「15A125V」の壁面コンセントに直接差し込む。(日本国内専用)

故障・発熱・火災・感電の原因になります。

◆定格15A以上のコンセントを単独で使用する。タコ足配線はしない。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。

◆異常・故障時には直ちに使用を中止し電源プラグを抜く。

発煙・発火・感電・けがの原因になります。

〈異常・故障例〉

- ・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・電源を入れているのに動かない
- ・電源コードに傷がついたり、通電したりしなかったりする
- ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする
- ・こげ臭い・発煙している

すぐにカスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。

◆電源プラグをなめない。

乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意すること。感電やけがの原因になります。

◆電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

◆動作していない事を確認してから電源プラグを抜き差しする。

感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。

火災・感電、けがの原因となります。



電源プラグを抜く

◆電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電・ショート・発火することがあります。

◆使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

けが、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



濡れ手禁止

◆濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。

感電・けがをすることがあります。



水濡れ禁止

◆本体を水につけたり、水をかけたり、洗い流したりしない。また湿気が多い場所、水が掛かる場所、水場で使用しない。

感電・ショート・故障のおそれがあります。



禁止

◆電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、束ねたり、熱器具に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

◆電源プラグにピン等の金属片やゴミを付着させない。

感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭き取る。

火災の原因になります。

◆電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

断線・故障・感電・ショート・火災・発火の原因になります。

◆ねじれが戻らなくなった電源コードは使わない。

感電・ショートの原因になります。

◆子供など、取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。

感電・けがをすることがあります。



禁止

- ◆長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。

火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。

- ・電源コードがねじれて戻らなくなった
- ・電源コードの根元部分が変形・傷んでいる
- ・コンセントの差し込みがゆるい

- ◆この取扱説明書に記載のない目的・方法で使わない。

けが・事故の原因になります。

- ◆専用のホッパーカバー、ホッパー、ミル、コンテナカバー、コンテナは用途以外で使わない。

けが・故障の原因になります。

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

- ◆本体のお手入れは、必ず電源プラグを抜いてから行う。

感電・けがの原因になります。



必ず行う

- ◆連続使用時間は55秒以内にします。連続作動する場合でも、使用時間は合計55秒以内にします。

55秒を超えて使用すると、モーターが過熱し、故障・発煙の原因になります。次の使用までに10分以上の十分な冷却時間をとってください。

※連続作動時間は作動時間の合計です。例えば、カップ数ダイヤル目盛が[2] (約12秒)を10秒おきに繰り返した場合、4回で合計約48秒になります。

- ◆使用中に本体が一時停止したり、異常に熱くなったり、異臭がした場合は使用を中止し、本体を30分以上休ませる。

30分以上休ませた後、本体が動作しない場合はカスタマーセンターにご相談ください。



禁止

- ◆本体を移動するときは、電源プラグを抜いて本体を持って移動する。

転倒・破損・故障の原因になります。

- ◆本体にふきんなどをかぶせた状態で使わない。

故障の原因になります。

- ◆平らな場所に設置する。カーペット・座布団・敷物など転倒の可能性のある不安定な場所に設置しない。

けが・転倒・故障の原因になります。



禁止

- ◆物を載せない。落下しやすい場所に設置しない。

発熱・発火・感電・けがの原因になります。

- ◆使用中にお子様やペットを側に近づけない。

けが・転倒・故障の原因になります。

- ◆室内で使用する。直射日光・雨が当たる場所に置かない、使用しない。

漏電・故障の原因になります。

- ◆屋外で使わない。

故障の原因になります。

- ◆ストーブやガスコンロなど熱源のそばや、引火性ガスのある場所で使わない。

発火・火災・爆発の原因、プラスチック部分が熱で破損するおそれがあります。

- ◆IHクッキングヒーターの上では使わない。

故障の原因になります。

- ◆倒したり落としたり、ぶつけるなど本体に強い衝撃を与えない。

故障の原因になります。

- ◆ホッパーにコーヒー豆以外のものは入れない。

故障の原因になります。

- ◆ミル受け部のお手入れは、付属のクリーニングブラシを使用する。

けが・故障の原因になります。

- ◆電子レンジや食器乾燥機、食器洗い乾燥機は使わない。

変形・故障の原因になります

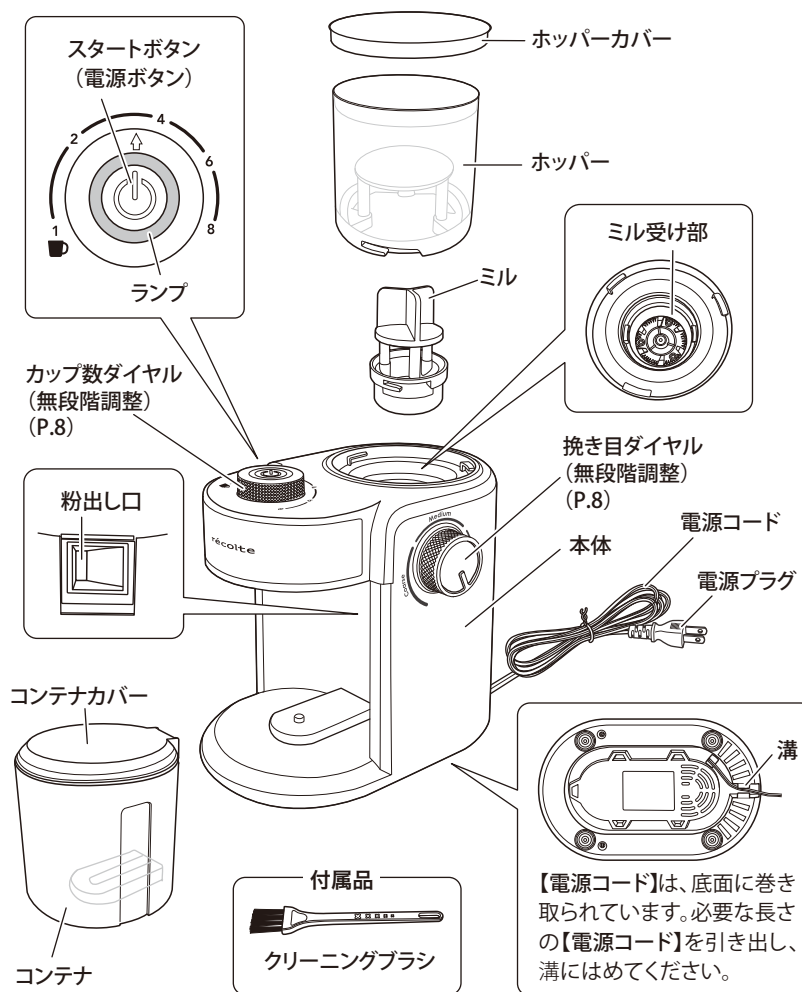
- ◆金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使わない。

本製品に傷がつくおそれがあります。

- ◆本製品は家庭用なので、業務用として使わない。

故障の原因になります。

各部(パーツ)の名称



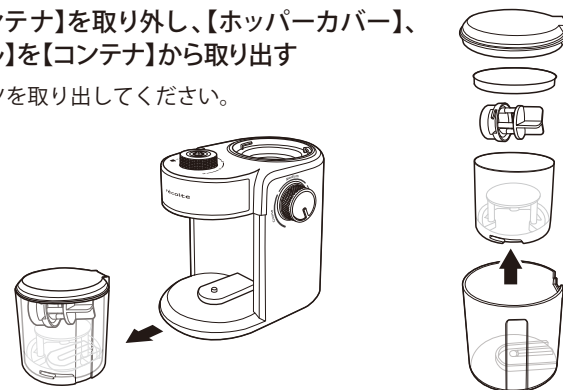
【ミル】について

本製品は、すべて工場出荷時にコーヒー豆を使った検査をして性能を確認しています。コーヒー粉が【ミル】や【ミル受け部】付近に付着していたり、コーヒーのにおいが残っていることがございますが、人体への影響はありませんので安心してご使用ください。

はじめてお使いになる前に

はじめてお使いになるときや長期間お使いにならなかったときは、【本体】、【ミル】以外の各パーツを水洗いしてからお使いください。

- 1 【本体】から【コンテナ】を取り外し、【ホッパーカバー】、【ホッパー】、【ミル】を【コンテナ】から取り出す
ポリ袋から各パーツを取り出してください。



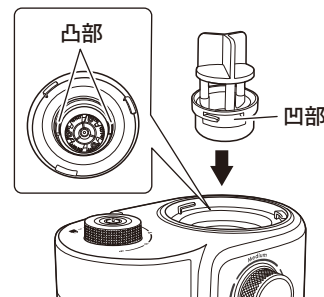
- 2 【ホッパーカバー】、【ホッパー】、【コンテナカバー】、【コンテナ】を水洗いする

やわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用して洗います。洗った後は水でよくすすぎ、乾いた布で水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

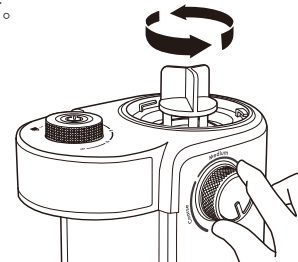
各パーツを取り付ける

【ミル】を取り付ける

- 1 【ミル】の凹部を【ミル受け部】の凸部に合わせ、差し込む
- 2 【挽き目ダイヤル】を指でおさえながら、【ミル】を反時計方向に、止まるまでしっかりと回し固定する

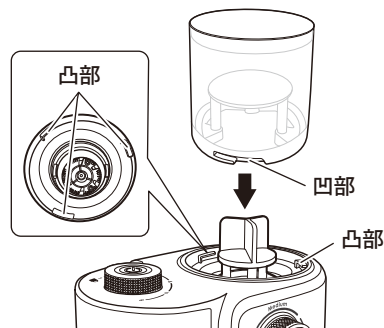


【ミル】が【本体】にカチッと止まるまで回します。
ミルを回すと、【挽き目ダイヤル】も回ります。



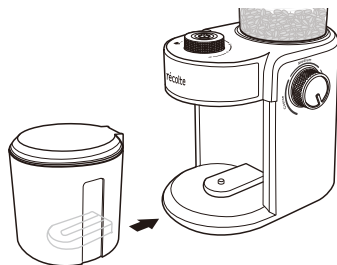
【ホッパー】を取り付ける

- 1 【ホッパー】の凹部を【本体】の凸部に合わせ、差し込む
- 2 【ホッパー】を反時計方向に、止まるまでしっかりと回し固定する



【コンテナ】を取り付ける

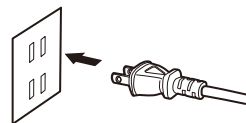
- 1 【コンテナ】に【コンテナカバー】でふたをし、【本体】にセットする



ご使用方法

- 1 【ホッパー】にコーヒー豆を適量入れ、【ホッパーカバー】でふたをする
- 2 【電源プラグ】を電源コンセントに差し込む
【ランプ】が4回点滅します。

【ホッパー】に入れられるコーヒー豆の最大量は約100g（深煎り豆の場合）です。



3 挽きたい豆の量（杯数）とお好みの挽き具合を設定する

【カップ数ダイヤル】の調整目安

必要なカップ数の目盛まで【カップ数ダイヤル】を回し、豆を挽く量を決めます（目盛は目安です）。豆の種類や焙煎度合などの条件で変わりますのでお好みで調整してください。

作動時間の目安

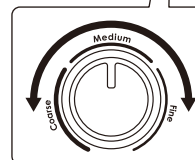
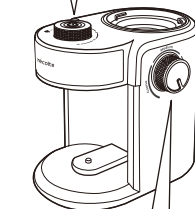
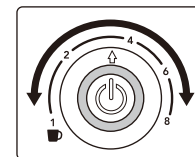
カップ数 ダイヤル目盛	1	2	4	6	8
作動時間	約7秒	約12秒	約24秒	約35秒	約43秒

1杯は、Medium（中挽き）で約8～10g（深煎り豆の場合）になります。

【挽き目ダイヤル】の調整目安

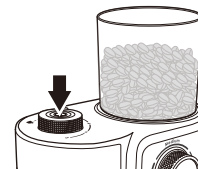
お好みのコーヒー豆の挽き目（粒度）に【挽き目ダイヤル】を合わせます。豆の種類や焙煎度合、道具や飲み方などに合わせ、お好みで調整してください。

Coarse 粗挽き	Medium 中挽き	Fine 細挽き
フレンチ プレスなど	ハンドドリップなど	コーヒーメーカーなど



4 【スタートボタン】を押す

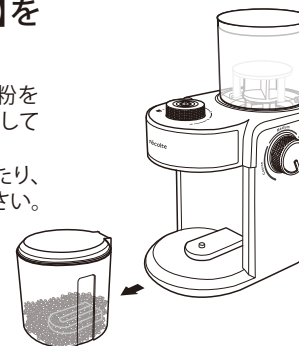
【ランプ】が点灯に変わり、豆を挽き始めます。
【ホッパー】内のコーヒー豆が【ミル】に挽かれて、
【コンテナ】に【カップ数ダイヤル】で設定したカップ
数のコーヒー粉が溜まります。
コーヒーが挽き終わると、自動で停止します。



5 豆を挽き終わったら、【コンテナ】を【本体】から取り外す

【本体】を軽くたたき【コンテナ】内にコーヒー粉を落としてから、【コンテナ】を【本体】から引き出して
ください。

※静電気などでコーヒー粉が【本体】に付着したり、
飛び散ったりする場合があるのでご注意ください。

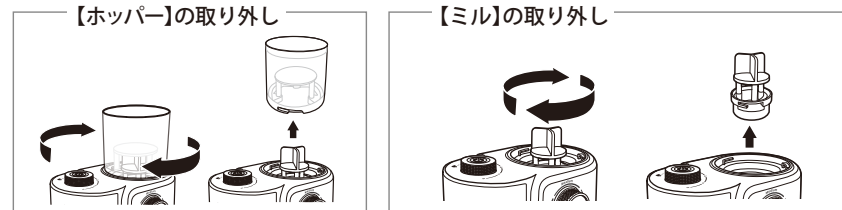


お手入れのしかた

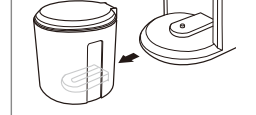
お手入れは必ず、【電源プラグ】を電源コンセントから抜いた状態で行ってください。

●【ミル】、【ホッパー】、【ホッパーカバー】、【コンテナ】、【コンテナカバー】のお手入れ

「各パーツを取り付ける」(P.6-7)の逆の手順で、【ホッパー】、【ミル】、【コンテナ】を取り外します。



【コンテナ】の取り外し
やわらかいスポンジで台所用中性洗剤を使用して洗います。洗った後は水でよくすすぎ、乾いた布で水分を抜き取り、十分に乾燥させてください。



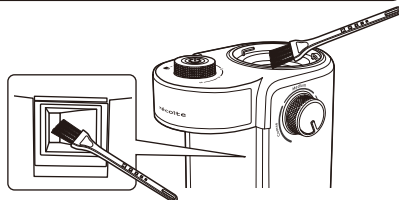
⚠ 注意 ◆食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用しない。
◆【ミル】および【ミル受け部】は水洗いしない。

●【ミル受け部】、【粉出し口】のお手入れ

クリーニングブラシを使用して、コーヒー粉を取り除いてください。

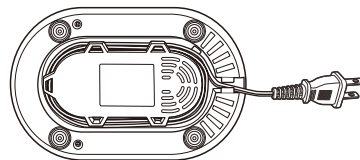
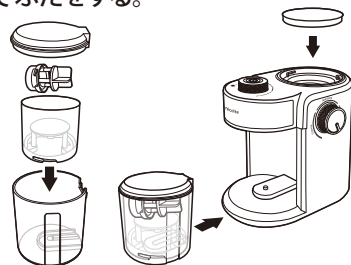
●【本体】のお手入れ

乾いた布で、【本体】を拭いてください。



収納のしかた

- 1 図のように各パーツを【コンテナ】に収納し、【本体】にセットする。【ミル受け部】は【ホッパーカバー】でふたをする。
- 2 【電源コード】を底面に巻き取る



故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったときは、修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

こんなとき	原因	対処法
【スタートボタン】を押しても動かない。	【電源プラグ】が電源コンセントに差し込まれていない。	【電源プラグ】を正しい電圧の電源コンセントに確実に差し込む。
【スタートボタン】を押しても動かずランプが点滅している。	【コンテナ】【ホッパー】が確実に取り付けられていない。	【コンテナ】【ホッパー】を確実に取り付ける。
豆が挽けない。	【ミル】が確実に取り付けられていない。	【ミル】を【ミル受け部】に確実に取り付ける。
豆挽きが途中で止まる。	【ミル】が確実に取り付けられていない。	【ミル】を【ミル受け部】に確実に取り付ける。
確認後、なお異常があるとき。	カスタマーセンターまでご相談ください。 無料修理規定と保証書をご参照ください。(裏表紙)	

仕様

品名	コーヒーグラインダー
品番	RCM-2
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	150W
定格時間	55秒
商品サイズ	収納時/約18.2(W)×13.3(D)×17.8(H)cm 使用時/約18.2(W)×13.3(D)×25(H)cm
重量	約1.1kg
ホッパー容量	約100g(深煎り豆時)
主な素材	本体/ABS、PP、ステンレス ホッパー、コンテナ/AS
コード長	約1m
付属品	クリーニングブラシ
生産国	中国

※仕様、デザインは商品改良のため予告なく変更することがあります。